

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	交通計画事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	08	04	02	01
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課				
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長	長橋 祐之				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	交通機関を利用する市民等	意図	円滑な交通計画事務の遂行を図れるようにする。
事業内容	交通計画共通の庶務経費の予算執行を行う。交通計画関連事務を適正に行う。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年8月のつくばエクスプレス開通や、バス交通の充実により、市内の交通利便性は向上している。</li> <li>T X沿線整備による人口増加に伴い、市民の交通に関するニーズは多様化している。</li> </ul>			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	歳出伝票処理件数	18	20	21	件	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

関係機関との円滑な情報交換や、最新の交通計画情報を得ることにより、質の高い交通計画の推進を行うことができる。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

平成29年度においては、ぐりーんバスの運行形態変更による新時刻表の印刷用紙や、バス停掲示物のための消耗品の購入が多く、歳出伝票処理件数は増加となった。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	681,126	2,239,812	2,192,882
事業費(b)(円)	154,026	180,312	179,282
うち一般財源	154,026	180,312	179,282
職員給与費(c)(円)	527,100	2,059,500	2,013,600
人役・職員(人)	0.07	0.30	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	・引き続き常に削減意識のもと業務の執行にあたる。	③取組の課題	・T X東京駅延伸に関する業務などの増加
②今年度(H29)に実施した取組	・T Xの東京駅延伸に向けた沿線都市及び関係団体との情報交換 ・各種協議会への出席	④今後(H30以降)の改善計画	・引き続き削減意識を持って遂行していく。